



佐藤照彦議員

産業振興

水産振興に全力を

地域営漁計画策定を支援

質問

① 漁協の経営再建と安定運営のため、町内漁協の合併実現のためには、定置漁業の漁協自営化問題を漁協のリーダーは肝を据えて、決めなければならぬのではないかと考える。町長はそういうことについて助言をし、支援すべきと考えるがどうか。

② 各漁協が策定する地域営漁計画は19年度中に全漁協が策定できる見通しか20年度以降は、その計画にそって、着実に実施するよう県とともに支援すべきと考えるがどうか。

沼崎町長

③ 食産業の振興に力を入れ大きな水産加工場、食産業の立地に力を入れてもらいたいがどうか。

① 私、合併漁協の経営に定置網自営が極めて重要だと認識している。しかし、漁業権の免許は当事者間の調整が図られることが理想であり、町は関与できない。

② 山田湾漁協は県の認定を受け、織笠漁協が認定申請した。残る3漁協も年度内認定を目指している。

③ 工場誘致条例対象業種であり、誘致支援に努める。

中高連携

魅力ある学校づくりへ支援を

中高連携推進事業で連携を図る

質問

県教委は、08年度10年度から「ポスト高校再編計画」などを検討する有識者委員会を発足させると報道された。

山田高校が将来にわたって存続するため、中高連携

町の考えを聞く



オランダアムステルダムにある日本人学校を訪れたジュニア海外使節団

教育にいつそう努力し中学校と高等学校がさらに魅力ある学校づくりを進められるよう「山田高校を支える会」などと力を合わせ、町を挙げて大いに支援すべきである。町としての支援策

を示されたい。

松尾教育長 山田高等学校の活躍を町広報で町民に広く伝えたり、ジュニア海外使節団としての派遣、全国・東北大会参加への必要経費の補助を行っている。

5カ年計画で「中高連携推進事業」を立ち上げ、中高の連携を図っている。

校長会議に山田高等学校の校長先生に出席してもらい、活動の様子を小・中学校に伝えている。